

仙台市感震ブレーカー設置促進支援事業運営業務委託 評価基準票

審査項目	企画提案書	評価の観点	配点	
①	I 基本方針	-	・業務の目的を十分に理解した提案内容であるか。	5
②	II 業務遂行体制	(i) 受託事業の実施体制	・業務の効果的な実施に必要な体制や役割分担が予定されているか。 ・想定される業務量やスケジュールに応じて、人員配置や作業体制が適切に確保され、正確かつ迅速に業務を進められる効率的な体制か。 ・コールセンター体制・負荷対応は、申請開始直後等の集中期と平常期の違いを踏まえ最適化が図られているか。	10
		(ii) 個人情報の取扱い	・個人情報の紛失・漏洩等を起こさないための対策が適切かつ具体的に示されているか。 ・個人情報の取り扱いに対する組織的な対応状況が適切に示されているか。	10
		(iii) 情報管理	申請受付情報や問い合わせ情報等について、記録・管理に関する方針及び運用方法が具体的に示されており、適切な管理が行われるものとなっているか。	5
		(iv) 類似事業の実績	類似事業の受託経験があり、事業実施に必要なノウハウを有しているか。	5
③	III 業務履行・企画提案	(i) 実施スケジュール・実施方法	・各業務のスケジュールが、具体的かつ現実的に検討されているか。 ・提案されたスケジュールにより、業務が安定的かつ効率的に運営できるか。	15
			・業務内容及び実施方法が具体的かつ適切に示されており、業務の安定的な実施が期待できる提案となっているか。	15
			・従事者に対する研修・育成体制が整備されており、市の委託事業者として適切かつ丁寧な市民対応を行うことが期待できるか。 ・相談・苦情等に対する組織的な対応状況が適切に示されているか。	10
		(ii) 広報物の作成	・広報物の作成方針や考え方が明確に示されており、市民にとって分かりやすく、事業の利用や行動喚起につながる広報展開が期待できるか。 ・医療機器使用世帯等への安全性に配慮した対応が検討されているか。	5
		(iii) 機器調達・取付支援	・感震ブレーカー4種類程度の器具の種類、金額、調達可能数、保管等について、提案が適切か。 ・取付支援の対応可能件数、訪問稼働回数や費用積算について、提案が適切か。	10
		(iv) Cross Innovation BOSAIと連携した普及啓発	・Cross Innovation BOSAIコンソーシアム参画事業者が有するアセット(店舗・顧客接点・広報媒体等)を具体的かつ効果的に活用した普及啓発の提案となっているか。また、実現可能であり、設置促進への寄与が見込まれるか。 ・市民が日常生活の中で自然に防災対策に触れ、「自分ごと」として感震ブレーカー設置を検討する契機となる、体験型・対話型・行動誘発型の工夫がなされているか。	20
		(v) その他想定支援件数の実現のための施策	・想定支援(申請)件数を実現するための提案について、チラシに限らず受託候補者の強みを生かした効果的な内容となっているか。 ・「提案にあたっての配慮事項」を踏まえた効果的な内容となっているか。	10
④	本店所在地等	-	・仙台市内に本店が置かれているか。 ・業務上必要な場合であり、かつ受託者以外の事業者が関与する場合は、市内に本店を有する事業者を活用するなど、地域経済への配慮がなされているか。	5
⑤	見積価格の妥当性	-	・見積内容が設定金額以内となっているか。 ・見積内容が提案内容と照らして整合性のある妥当な積算となっているか。	5